

一般登山レスキュー講習会報告

さいたま市山岳連盟
遭難対策委員会

日時 : 平成 26 年 11 月 9 日(日) 8:15~16:00
場所 : 天覧山 R.G. (能仁寺あてに岩場利用申込書を事前送信)
講師 : 上級登攀ガイド 佐藤 博氏
受講人数 : 25 名 うち 5 名は講習アシスタント (リーダー) を依頼

<講習内容>

市岳連でも恒例となっている佐藤ガイドによるレスキュー講習ですが、今回は、「一般登山中の事故対応」というテーマで日頃、バリエーション登山を行っていない会員も対象とした内容として頂くようお願いしてカリキュラムを組んで頂きました。

8:15 に飯能市民会館トイレ横に集合、4~5 人×5 班のチーム分け兼点呼の後、早速岩場に向かう。恒例ではあるが、他会のメンバーとの交流を狙いとして、班分けは会ごとに固まらないように編成した。

《講義》

トイレのある広場でハーネスを装着。各班、リーダーの指導に従い装着状況の点検等を行った後、準備のできた班から順次、岩場に向かった。

岩場下に到着後、フリクションヒッチ用スリングの作り方に始まり、ロープ強度に係る構造、特性についての講義を受けた。

《実技》

実技講習は、まず、佐藤ガイドがデモを行い、その後、班ごとにリーダーの指導の下、複数回繰り返し実践するというスタイルで行われたため、人数の多い中、効率的に実技練習ができた。

○レスキューに必要なロープの結び方

まず、特別な装備がない場合のレスキューの基礎となるロープの結び方として、半マスト、マッシュャーノット、ミュールノットの 3 点セットに絞って集中的に繰り返し練習し体得した。

○懸垂途中での仮固定

ロープの結び方が身についた後、まず、崖上からの半マスト懸垂の途中で仮固定で停止する練習を班ごとに実施した。

○引き下ろし

救助者が崖下にいる要救助者の所に懸垂で降り、要救助者を収容後、介助しながら懸垂下降する練習。

○1:2 引き上げ

救助者が崖下にいる要救助者の所に半マスト懸垂で降り、マッシュャーによるオートブロックをセットした後、上り返し、1:2 システムにより引き上げる練習を班ごとに繰り返し行った。終了後、佐藤ガイドが 1:6 引き上げのデモを実施。

○背負い搬送

岩場下に移動し、メインロープをループ状に束ねたものを背負い紐にしての背負い搬送を代表数名が実践した。

<総括>

講習終了、記念撮影後、トイレのある広場に移動し、ハーネス、登攀具を外した後、佐藤ガイドより総括頂いた。

「これでレスキューが出来るようになったとは思わないで下さい」と繰り返しの訓練の必要性を強調されていました。

<おわりに>

今回、一般登山者向けということで、過去のレスキュー講習に比べると、なるべくシンプルに内容を絞って集中的な講習内容となっており覚えやすかったように感じました。

また、佐藤ガイドがデモを行い、班ごとにリーダーが指導するというスタイルも短時間の中で効率的に講習を行う上で非常に有効であると思いました。

佐藤ガイド、アシスタントを引き受けて頂いた5名のリーダーに感謝いたします。

今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございました。

以上